

高能率キャベツ収穫機

温室効果ガス

農薬

肥料

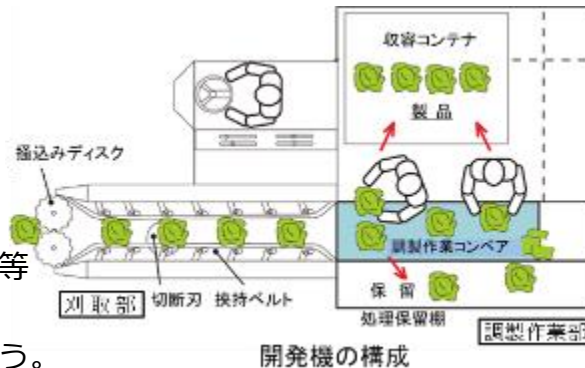
有機農業

その他
(労働生産性)

生産 品目：キャベツ

技術の概要

- 加工・業務用キャベツの収穫・選別・調製作業を1台の機械により行う高能率キャベツ収穫機。
- 1条の刈取部はキャベツ茎部をディスクで掴んで引抜き、ベルトで搬送・姿勢を補正して茎部を切断する。
- 調製作業部では、機上の作業者がコンベアを流れるキャベツの選別・調製を行い、収容コンテナに収める。
- 作業は、オペレータ1名、作業員2名～4名、ローダ等のオペレータ1名の4名～6名で行う。



機上作業の様子

高能率キャベツ収穫機

導入の留意点

- 加工・業務用キャベツの収穫・調製・収容作業に**
1畝1条栽培の畝幅60cm以上、畝高さ20cm以下の栽培条件に対応。収穫時作業速度は概ね0.15m/s～0.20m/s。

その他（価格帯、研究開発・改良、普及の状況）

- 価格帯
 - ・1,200万円（税込、40PSタイプ）
- 普及の状況
 - ・2014年から市販化、全国の大規模産地を中心に産地に170台が導入・普及

効果

◎加工・業務用キャベツ収穫の機械化

慣行のキャベツ生産労働時間（87hr/10a）の3割を占めていた収穫作業の機械化を達成。

◎収穫作業の高精度・高能率化

外葉除去等の調製作業精度 90%以上、コンテナ収容を含む作業能率 2.9a/時、投下労働時間 17.4人・時/10a、慣行手作業の作業時間を40%以上削減。

関連情報

① 緊プロ農機優良導入事例
（平成13年）

② ヤンマーホールディングス株式会社：
収穫機が後押しする地域特性を
活かしたキャベツの産地化（平成26年）

